

第60回 平成18年度 国土交通省国土技術研究会について

1. 国土交通省国土技術研究会とは

- (1) 国土交通省国土技術研究会は、社会資本整備における中長期的又は緊急的に取り組むべき技術的な課題等について、本省、地方整備局、地方航空局、試験研究機関等の調査・研究の成果や現場での取り組み、新しい技術の活用等に関して発表を行い、お互いの取り組みに対する理解を深め、技術の広範な交流が行われ、社会資本整備に関する技術の研につながることを目的として開催するものである。
- (2) 発表者は、国土交通省、独立行政法人、地方公共団体等の技術者で、聴講者は、学会、民間を含めた広く一般の技術者である。
- (3) 発表課題は、指定課題及び自由課題三部門（一般部門、アカウンタビリティ部門、新技術活用部門）である。
 - 1) 指定課題は、国土交通省が所管する住宅・社会資本整備に関する技術の重要な課題について本省が指定する2～3ケ年の研究課題であり、本省、試験研究機関が中心となっていくものである。

なお、発表は、本省、試験研究機関等がパネルディスカッション形式等で行う。
 - 2) 自由課題は、住宅・社会資本の整備に当たり、全国的に発表する価値のある研究テーマの内、以下の三部門について、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、地方公共団体等の技術者が行う個人発表である。なお、昨年度よりパネルディスカッション形式等でも実施するものである。
 - ・ 一般部門
 - ・ アカウンタビリティ部門
 - ・ 新技術活用部門

2. 平成18年度国土交通省国土技術研究会の開催概要

主 催	国土交通省		
開催月日	平成１８年１０月２４日（火）、１０月２５日（水）		
開催場所	都市センターホテル ３・５・６Ｆ 住 所：東京都千代田区平河町２－４－１		
発表課題数	指定課題	： １４ 課題	４ 会場
	自由課題	： 一般部門	２８ 課題
		アカウンタビリティ部門	１０ 課題
		新技術活用部門	３５ 課題
	ポスターセッション	： ２７ 課題	１ 会場
特別講演	藤井 聡 東京工業大学 教授 『公共事業逆風世論の真実』		
参 加 者	Ｈ１７年度実績（国土交通省、地方公共団体、民間会社） 約１，２００名（２日間延べ人数）		